

第10回やまねこ博覧会開催報告

開催期間：令和3年10月16日(土)、17日(日)
開催場所：京都市動物園

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくために「やまねこ博覧会」を開催しました。2012年から始まり、今年で10回目の開催となりました。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、人数制限などの対策を取り、各企画を実施しました。

来園者数：16日(土) 5929人 晴
17日(日) 6019人 曇



キーワードラリー (両日)

ツシマヤマネコの普及啓発チラシを参加証として、園内に散りばめられたキーワードを集めてもらいました。キーワードを完成させた方には先着で当園の飼育個体を載せたポストカードカレンダーをプレゼントしました(2日間200個)。

参加者(チラシ配布枚数)：16日204名、17日434名



サクラちゃんと一緒に (両日)

当園のツシマヤマネコのマスコットキャラクター「サクラちゃん」と対馬市の「たまひめちゃん」による記念撮影イベントを行いました。昨年は等身大パネルのみでの実施でしたが、今年は人数制限を設けてレクチャールーム内にて実施しました。

参加者：
16日 午前・午後各1回 計26組
17日 午前1回 10組



デジタル紙芝居（両日）

昨年同様に、密を避けるため、録画した紙芝居をイーストギャラリーで常時放映としました。

紙芝居「ツシマヤマネコのシマ」

【作】キム・ファン 【絵】吉野由紀子



参加協力団体によるブース出展（両日）

両日ともに、「対馬市」、「一般社団法人MIT」、「NPO法人ツシマヤマネコを守る会」、17日（日）のみ「岐阜大学動物繁殖学研究室」、「関西大学第一高等学校・中学校生物部」にご協力いただきました。ツシマヤマネコの保全活動の紹介、ワークシートの配布、普及啓発用のグッズ販売などが行われ、両日ともに多くの来園者がブースを訪れ賑わっていました。



写真展「全国ツシマヤマネコ飼育個体」

展示期間：10月12日（火）～17日（日）

昨年同様に、ツシマヤマネコの飼育個体の写真パネルを実物大に加工し、園内数箇所に分散して設置しました。来園者が実際に対馬に訪れてツシマヤマネコを見つけたような展示方法で実施しました。



獣医が行く！【録画配信】（16日13：30配信）

定例イベントの「獣医が行く！」をやまねこ博覧会に合わせて録画配信しました。動物園におけるツシマヤマネコ保全の取組に焦点をあてて、事前に録画した「公開展示エリア編」「繁殖棟前編」「繁殖棟後編」の3本の動画をYouTubeおよびInstagramにて配信しました。コロナ渦でご来園いただけない方にも動物園での取組を広く知っていただける内容となっています。



やまねこ講演会（17日のみ） 参加者：53名

今年の講演会は定員を設けての整理券配布形式で実施しました。講演は当園の職員から2題、よこはま動物園ズーラシアからのリモート講演でのご協力を得て1題の計3題で実施しました。普段は聞くことのできない他園のお話を聞くことができるということもあり、定員いっぱいの方に参加していただきました。

当園の飼育担当からは非公開施設で飼育している個体の様子を写真や動画でお伝えしました。園長からは当園にツシマヤマネコがやってきたときの経緯などをお話しました。よこはま動物園からは今年初めて成功したツシマヤマネコの人工授精についてお話していただきました。



「非公開のツシマヤマネコ
繁殖棟をのぞいてみよう」
京都市動物園 種の保存展示課 瀬尾亮太



「ツシマヤマネコにおける
人工授精の取り組みについて」
(リモート講演) よこはま動物園ズーラシア
獣医師 東野晃典



「京都市動物園にツシマヤマネコがやってきた！」
京都市動物園 園長 坂本英房